

平成30年度 周南市隣保館運営委員会議事録

1 開催日時 平成30年10月31日(水) 10時00分～10時55分

2 開催場所 周南市シビックプラットホーム2階 共用会議室H

3 出席者

委員(9名) 谷口委員 浅田委員 中村委員 田中委員 中本委員
深野委員 林委員 福田委員 宮本委員

※1名欠席

事務局等(9名) 隣保館長 4名 事務局 5名

4 議事内容

(1) あいさつ (環境生活部長)

(2) 委員及び館長・事務局の自己紹介

(3) 議 事

①平成29年度事業実績及び今年度の計画について

会長：事務局より説明をお願いします。

課長：各館長からご説明します。

各館長：平成29年度事業実績及び平成30年度事業計画について説明

②周南市隣保館施設分類別計画の策定について

会長：事務局より説明をお願いします。

課長：周南市隣保館施設分類別計画についてご説明します。昨年度は、本計画策定に向けて案を示し、ご意見をいただきました。それ以降、意見の集約と庁内調整を重ね、若干表現等の修正はありましたが、ほぼ同様の内容です。今後の隣保館施設運営については、この計画に基づき取り組んでいきます。

会長：川崎会館と高水会館は、耐震診断が未実施となっているが、これから実施する予定がありますか。

課長：市には多くの施設がたくさんあって、順次進めているところですが、現時点で、川崎会館と高水会館においては、計画はありません。

尚白園と東福祉館について計画案を示した時点では、第二次耐震診断の結果が出ていませんでした。診断の結果、耐震性については、いずれも判定指標の基準を若干下回っているものでした。これを踏まえて、施設の計画的な耐震化整備を検討していくこととします。

委員：館の利用者が3年間で減っているのは、講座が減っているのでしょうか。

川崎会館 : 講座等の回数自体は変わっていませんが、1回あたりの参加者が少なくなっているのが主な要因と思われます。若い人向けの教室を増やしていますが、数字的には伸び悩んでいます。

委員 : 来年度から児童館がなくなり利用者が減ると思われるので、若い人向けの教室に取り組んでいるのは、いいことだと思います。高齢化が進み、各館もいろんなアイデアを出されるとよいと思います。

尚白園 : 高齢化のため利用者が減っていますが、今年あたりから、個別の実施回数が増え、新しい教室をやりたいという声もあり、その分増えると思っています。ただし、児童館がなくなり減る部分もあり、全体ではわかりません。

東福祉館 : 利用者は毎年増減している状況で、このまま推移すると思います。1回あたりの人数が減っているのは認識しています。今年度は熱中症という特殊な要因で、自主的に講座を中止されたりした関係で8月の利用が落ちています。

高水会館 : 市民センターなどが近いことから、教室数などが減っています。

委員 : 東福祉館の水曜モーニングとは、どんなものですか。

東福祉館 : 認知症、介護、年金など前年度に興味のあることなど、アンケートの実施で意見を反映し翌年度実施しているものです。

委員 : 川崎会館では5自治会による地域連絡協議会で日ごろから様々な行事などを一緒にすることが多く、非常に良いことだと思います。

会長 : 事務局においては、本日の委員のご意見を踏まえて施設の運営に努めていただければと思います。